

現在の日本において青少年を取り巻く社会環境は日々急速に変化しています。変化により便利になる事は人類の望みであります。しかし、その変化によって失ってはいけない大切なものがあるのではないのでしょうか。たとえば、携帯電話や SNS の普及により便利になってゆく反面、従来型の人と人のコミュニケーション力は低下しているように感じます。

また、長引く不況や、少子高齢化時代への具体的な対策もないままに、未来に希望が持てない若者が増加しています。デフレ脱却に向けた大胆な金融緩和政策や成長戦略、2020 年に開催予定の東京オリンピック・パラリンピックに向けた経済効果への期待感により、日経平均株価上昇や円安など追い風が吹いているものの、国内経済意識調査の結果からはその効果を体感できている国民はまだ少ないのが現状です。

そして、教育のかたちも大きく変化しています。その昔、日本では青少年の教育を親と学校と地域の三者が一体となって行ってきました。しかし現在の日本の現状は地域の教育と言われるものは影を潜めています。無関心や希薄な人間関係、青少年を巻き込んだ凶悪犯罪の増加などが横行する毎日では仕方の無い事なのかもしれません。しかし、この現状を何もせずただ見過ごしているようでは、我々大人が胸を張って次の世代に「志」や「矜持」を示すことができるとは思えません。だからこそ我々が率先して愛する地域のために未来に希望を持てるような青少年育成事業を行いたいと考えました。

そこで、今年度の青少年育成委員会では青年会議所だからこそできる青少年育成を行っていきます。青年会議所は様々な業種の集まった団体です。その特色を最大限に生かし、親や学校では教えていない教育に関する事業を中心に運動を展開してまいります。

例会では青少年が「生きる力」を学んでいただけるような事業の開催を目指します。まず、4 月に経済・財政を理解し活用する能力、通称「ファイナンシャルリテラシー」についての勉強会を開催したいと思います。現在日本の青少年は他の先進国に比べ「お金」や「経済の仕組み」についてほとんど学んでいません。経済の安定は地域の発展につながります。青少年にグローバルな視野で未来を見つめていただきたいと考えます。また、11 月には昨年開催されましたお仕事体験イベント「キッズモール」の継続開催をおこない、働く意味や喜びを体験していただくと同時に、地域で働く大人と触れ合うことで、地域のために活動していただけるような人材育成を行いたいと思います。また、公開委員会としてわんぱく相撲の本大会出場者の子どもたちの支援や、青少年に関する事業のサポートを行っていきます。

一年間島内理事長の掲げる基本理念「本気」を胸に、公益性高く熱い事業の開催を目指し運動を展開していきたいと思っておりますので、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。